



西都市立
妻北小学校
学校通信

妻北っ子だより

令和5年度 | 2月号

スクールワイドPBSに取り組んでいます

あまり聞き慣れないことばだと思いますが、PBS(略称)とは「ポジティブな行動支援」という意味で、子どもたちのできている行動に目を向け、ほめながら望ましい行動を増やしていこうとする取組です。

つついできないことに目が行きがちですよね。

「なんでトイレのスリッパを並べないの！」

「あいさつしなさいって言ったでしょ！」

このようなできていない行動に対しての言葉かけではなく、「○○ができるようになったね。」と行動をほめて伸ばすために、2学期は「トイレのスリッパ並べ」「自分からあいさつや会釈をしよう」の2つを全校一斉キャンペーンとして取り組みました。

右のグラフは、上がり下がりはあるものの、キャンペーン実施前と比べると、トイレのスリッパを意識して並べる児童が増えてきています。

また、保護者や地域の皆様にご協力いただいた「あいさつ運動」では、あいさつがきちんとできた児童はあいさつカードをもらい、「あいさつの木」にカードを貼りました。子どもたちのカードでうめつくされた「あいさつの木」は1週間で何本も並び、子どもたちの意欲付けを図ることができました。

「あいさつ運動」が終わったあとは、どうなるのか・・・

想像はつきそうですが、このようなキャンペーンを繰り返すことによって、いずれはご褒美のカードがなくてもあいさつができる子になってほしいなあと期待しているところです。

